

東御市
社協報

ほほえみ

26号

平成21年 1月19日発行

編集発行 社会福祉法人
東御市社会福祉協議会
長野県東御市鞍掛197
(総合福祉センター内)
TEL (0268) 62-4455
FAX (0268) 64-5695
<http://www.tomisyakyo.or.jp>
印刷 (有)グリーン美術出版

社協報「ほほえみ」の名称は明るく夢をもって笑顔で暮らせる地域の福祉づくりを進めていくことから名づけられました。

▶おせち料理訪問



◀介護予防センター
くらかけ忘年会



・支えあい
・助け合い
・励まし合う
地域づくりを
目指して



▲障害者の日の集いの
福祉講演



▲出前講座 (田中小学校)

▲デイホームくるみの家
忘年会



▲出前講座 (和小学校)

○障害者の日の集い

○各地の生き生きサロンから

○月間スナップ

○「ボランティアかわら版」

この社協報は共同募金配分金によって印刷したものです



あけましておめでとうございます

新年のあいさつ



東御市社会福祉協議会 会長 増田 勝仁

明けましておめでとうございます。希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、社協の事業や活動にご支援、ご協力を賜り、誠に有難うございます。特に、会費納入・共同募金へのご協力に感謝申し上げます。皆さんから寄せられました資金は、支部（区）福祉活動、小中高福祉教育・ボランティア事業、高齢者や障害者活動の支援及び助成、福祉用具貸し出し事業等に活用させていただき、地域福祉の充実、発展につなげることができました。誠に有難うございます。

今年も、皆さんの福祉ニーズを的確に把握し、諸事業を充実・発展させていく所存ですので、困った事がありましたら社会福祉協議会に声を掛けてください。社協が皆さんにとって身近な存在となるよう努めてまいります。

ところで、今年は、東御市社協の地域福祉活動計画の策定が最終段階に入り、向こう5カ年の方向性を形作る重要な年となります。この活動計画は「支える者も支えられる」ことを念頭に、市民一人ひとりが自身の生活課題を理解し、支部（区）を中心に社協と協働し、福祉ニーズ解決に向けての取り組みを行ってまいります。

以上、「支え合い 助け合い 励まし合う 地域づくり」を目指し、活力のある地域福祉の構築と、福祉サービスの充実向上に向けて一層の努力を続けてまいります。

年頭にあたり、新しい年が、皆様にとって明るく幸せな年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



▲今年もよろしくお願いします

職員一同

謹賀新年

旧年中は、東御市社会福祉協議会の事業にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。新年を迎え、新たな気持ちで地域の福祉活動の推進に努力して参りますので、ご支援の程よろしくお願い致します。

社協のホームページを更新しています！



東御市社会福祉協議会では、ホームページで行事予定や事業報告等を随時、更新しています。写真入りでわかりやすく発信。

アクセスをお待ちしています。

アドレスは……

<http://www.tomisyakyo.or.jp/>

または…
検索エンジンで、

東御市社協

検索

クリックしてごらんください。

「第5回 東御市障害者の日のつどい」ひらく

思いやりの心を結集し、ふれあいの輪を広げようをスローガンに掲げ、東御市の福祉団体などでつくる実行委員会は11月26日に、「第5回障害者の日のつどい」を市中央公民館で開き、約230人が参加しました。これは、12月3日～9日の「障害者週間」に合わせて開催したもので、障害を克服しスポーツや芸術部門で活躍した皆さんの紹介や体験発表が行われ、障害者福祉について理解を深めました。また、福祉講演では「人生を楽しむために」と題して、軽井沢町出身でアイススレッジホッケー・トリノパラリンピック日本代表の上原大祐さんが、育ってきた環境やアイススレッジホッケーとの出会いなど、笑いを交えた講演が行われました。



▲講演の講師は上原大祐さん



▲会場には約230人が参加しました



▲身障協の受賞者の皆さん



▲会場には手話通訳も……



▲三味線演奏でなごやかな雰囲気……



▲作品展示もおこなわれました

各地の生き生きサロンから

布 下 区

晩秋の11月6日、布下区では福祉運営委員長ほか総勢32人の皆さんが市高齢者福祉センターに勢ぞろいして、お茶と食事とおしゃべりと、さらには入浴で心身を癒し楽しいひと時を過ごしました。皆さんは、「人と人との触れ合える機会の増えることを楽しんでいきます」と話していました。



▲大勢のお茶会楽しいですね



▲手づくり料理でお茶会



丸山京子
福祉運営委員長

栗 林 区

12月13日、栗林区では忘年会を兼ねた生き生きサロンを、総勢20人ほどが栗林公民館に集まって楽しいひと時を過ごしました。

丸山京子福祉運営委員長ほか委員の皆さんによるおはぎなど手づくり料理をいただきながら、フラダンスや別府明子さんの民話などで時の経つのも忘れた楽しいひとときを過ごしました。

月間スナッポ

介護者リフレッシュ交流会

11月12日、日ごろ在宅で介護している皆さんを対象に介護者リフレッシュ交流会が行われ、群馬県の草津温泉に出かけました。草津温泉に向かう車中では、変わりりゆく紅葉を楽しみながら、秋の歌を参加者同士で合唱しました。交流会では、日ごろの介護の話を交えながらおいしい料理と温泉を堪能し、リフレッシュした一日となりました。



▲皆さんお元気で楽しいひと時



▲手料理づくりのボランティアの皆さん

デイホームくるみの家忘年会

12月5日、デイホーム「くるみの家」では昨年より10日早い忘年会が行われました。午前10時より利用者9人はボランティア12人の皆さんに迎えられて、午前は日舞とビリーブの会による手話ダンスのアトラクションがあって、午後は民謡でたっぷり楽しみ、最後はお茶会をして楽しい忘年会となりました。

介護予防センターくらがけ忘年会

12月19日に、介護予防センターくらがけの各曜日の利用者約40人が一堂に会し、忘年会が開かれました。この日に向け練習してきた歌唱やハンドベルを、お互いに披露し、参加者全員による「きよしこの夜」の演奏は圧巻でした。おいしい昼食をいただき、普段会えない他の曜日の利用者との話に花を咲かせました。



合同クリスマス会

12月19日、祢津・島川原・布下の地域活動支援センターの合同のクリスマス会が、御牧の家で開かれました。この日は約50人が集い、「J S」がバンド演奏を披露。参加者全員でクリスマスソングなどを歌い、楽しいひとときを過ごしました。その後、おいしいランチをいただき、お楽しみ会ではトークとハーモニカ演奏が行われました。



社協はこんな事業も行っています！

ふとんの丸洗いサービス

社会福祉協議会では、日ごろ使用している布団（寝具）等を干すなどの衛生管理の困難な皆さんを対象に、布団の丸洗いを行っています。そこで今回は布団の丸洗いサービスの利用方法などについてご紹介します。

Q どのような人が対象者になりますか。

A 70歳以上の一人暮らしの人や高齢者世帯、在宅で寝たきりの状態にある人が対象ですが、自分で布団を干すことや、洗濯のできる人は対象になりません。

Q 年に何回お願いできますか。

A 年間3回（2月、6月、11月ごろ予定）実施しています。

Q 料金はどの位かかりますか。

A ご利用料金は、要介護認定を受けた人は1割、その他の方は2割負担です。布団の種類により、1枚80円から680円がかかります。

Q どんな布団でもいいですか。また、一人何枚まで利用できますか。

A 寝具として使用している布団（羽毛、羊毛も可）や毛布が対象になり、1人につき2枚までご利用いただけます。



なお、布団に皮の付いている物やマットレスの中にバネの入っている物など、特殊な布団は丸洗いできません。

Q 申し込みはどのようにすればよいですか。

A 布団の丸洗いサービスのお申し込みについては、オフトークや市報お知らせ版、社協報でお知らせしますので、社会福祉協議会までお申し込みください。

おせち料理訪問事業

「年末年始を健やかに」と、社会福祉協議会では毎年年末に「おせち料理訪問事業」を行っています。ここでは同事業の内容についてお伝えします。

Q 事業主体は社協ですか。

A そうです。長く続く年末恒例の事業です。地域の民生児童委員さんの協力で行っています。

Q 事業の目的はどんなところにありますか。

A 年末年始を独りで過ごす高齢者等に“まごころ”をお届けしたいとの思いからスタートしました。皆さんには喜んでいただいております。

Q どのような人が対象になりますか。

A 市内の75歳以上の独り暮らしの方と85歳以上の高齢者世帯。義務教育が終わるまでのお子さんがいる父子家庭で、いずれもおせち料理を用意することが困難であり訪問を希望する方です。

Q おせち料理は手作りですか。調理はどなたがされるのですか。

A 全て手作りです。民生児童委員女性部の皆さんが作ってくださいます。今回は49人が2日間をかけて作ってくださいました。

Q 訪問はいつ、どなたがされるのですか。

A 今回は30日に、地域の民生児童委員さんがそれぞれ訪問し、お手紙を添えてお届けしました。



ボランティアかわら版



ご存知ですか?

ボランティア活動を応援します!!

東御市ボランティアセンター

～ボランティアをしたい・ボランティアをお願いしたい方のお手伝いをしています～

東御市ボランティアセンターでは、ボランティア活動の相談や、ボランティアの派遣・調整を行い、ボランティア活動の輪を広げています。ボランティアの方が、自由に使用できるボランティアルームも2部屋設置し、市民のみなさんが気軽に利用できる拠点です。また、ボランティア養成講座の開催や、ボランティア情報の提供、活動用機材の貸し出し等も行っています。場所は東御市総合福祉センターの1階にあります。

●ボランティアの総合相談

- ・ボランティアに関する相談
- ・ボランティアの登録・派遣・調整

●養成講座

- ・ボランティア初級講座、中級講座
- ・音訳、点訳、手話ボランティア等のスキルアップ講座
- ・夏のボランティア体験学習

●高齢者や障害者の体験学習の出前講座を開催

- ・アイマスク・車いす・手話
- ・高齢者擬似等
- ・そのほかにも、ご希望にあわせた福祉体験学習のプログラム作りをします。

ボランティアセンターではこんなことをやっています



ご利用をお待ちしています!!
問い合わせ：☎62-4455

●ボランティアルームの貸し出し

(ボランティアに関する活動に限られます)



▲掲示板 ボランティアルームの前に設置

●ボランティア保険の加入受付

●ボランティア情報の提供

(社協報ほほえみ・福祉センター1階掲示板)

●ボランティアグループの育成、活動支援

- ・ボランティアグループへの助成
- ・ボランティア連絡協議会の育成、活動支援

●機材やレクリエーショングッズ、福祉ビデオ、福祉図書の貸し出し



▲ボランティアルーム

和小学校



講師 広沢さん

ガイドヘルプ体験

とき 11月28日
対象 4年生全員
講師 広沢里枝子さん
内容 講師のお話とガイドヘルプ体験。

感想

- ・目が不自由な人も、体の不自由な人も、普通の暮らしができるんだなと、初めて分かりました。
- ・目が不自由でもできるスポーツを考えてみました。自分はスポーツが好きなので、広沢さんにも、スポーツを楽しんでもらいたいです。



出前講座 田中小学校

ボランティアの皆さんありがとうございます

車いす・アイマスク体験

とき 12月2日
対象 6年生全員
講師 佐藤聡史さん、森祐子さん
内容 ①車いすで校内を通行する(車いすの乗車と介助体験)
②アイマスクをつけて目の不自由な方の体験と目の不自由な方に言葉で絵画を伝える。



車いす感想

- ・車いすに乗ることも、押すことと同じぐらい大変なことが分かりました。

アイマスク体験

- ・目が不自由でも、絵を言葉で伝えれば、想像して絵を楽しむことができるんだなと思いました。

上小ブロックボランティア交流研修会

平成20年12月14日、長和町で「平成20年度上小ブロックボランティア交流研究集会」が開催され、東御市から20人が参加しました。長野大学准教授の坪井真先生の講演と、3つの分科会で日ごろの活動の発表・問題解決について話し合われました。



みんなの掲示板

ボランティア募集等
情報を掲載します。
掲載希望：
TEL62-4455

障害者の方と交流しながら、作業のお手伝いをして下さる方募集！

- 募集施設 さんらいずホール
- 場 所 地域生活支援センターさくら内
(ダーチャ向かい)
- 時 間 平日10:00～11:30の間で都合
13:30～15:00の良い時間
- 内 容
 - ・下請け業務
 - ・牛乳パックのリサイクル
 - ・広告のリサイクル
- 問い合わせ先
地域生活支援センターさくら
担当：土山(つちやま) ☎63-1220



レクリエーション活動に お使い下さい！

「じゃんけんペタンコ」

グー、チョキ、パーが描かれた、どらやき状のペタンコを、同じくグー、チョキ、パーが描かれた円盤状の的の上に投げ、勝つところに入れば得点、負ければ減点となる遊び。

地域のサロン活動にお使いください。

借用希望の方は、東御市社会福祉協議会

☎62-4455



助成金情報

◆全日本冠婚葬祭互助協会 第10回社会貢献基金助成◆

高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、環境・文化財保全、国際協力・交流など社会貢献に資する事業を対象に助成します。

- 応募締切 平成21年2月末日(必着)
- 助成金額 1件200万円以内
- 問い合わせ先 (社)全日本冠婚葬祭互助協会

☎03-3433-4415

E-mail wemaster@zengokyo.or.jp

あがた ボランティア

設立は、昭和61年。福祉施設のオムツタタミの活動から始まり、地区の空き缶拾いやウエス切ボランティアを実施したことに始まった。現在は、会員11名で、月1回県区の生き生きサロンを福祉運営委員とともに開催、社協の出前講座補助等を行う。

サロンでは、メンバーの特技を披露したり、それぞれが得意とする事を取り込みながら、特色のある活動を細く長く続けていきたい。

(高木友子代表 ☎62-2053)



こんにはボランティアグループ

ボランティアセンター登録グループの紹介コーナー

本海野ボランティア グループ



昭和61年設立。メンバーは36人。主な活動は、1人暮らし高齢者のお宅に、手作りの弁当と温かい汁を定期的

に届ける配食サービス、高齢者を温泉地にお連れし憩いと交流の場を作る、福祉運営委員さんと協力し生き生きサロン開催の手伝い等。最近では、季節のイベントを兼ねて子供たちとの3世代交流の場作り、高齢者施設への慰問活動等を新しい活動として取り入れている。写真は、市内福祉施設の学習会兼レクリエーションボランティアの様子。

(宮下静枝代表 ☎63-5324)

今年もまごころの寄付をいただきました



▲別府清信さん(右)から寄付金をいただきました



▲東御キリスト教会からチャリティーバザーの収益金をいただきました



▲花づなの会からガーデニングエプロンとバザーの売上金を寄付していただきました



▲東御ライオンズクラブからテント2張をいただきました



▲北信ヤクルト販売㈱から寄付金をいただきました



▲上小理容組合からタオルと寄付金をいただきました



(11月・12月の受付分です)

匿名様	日用品
高橋 伊三郎 様	10,000円
匿名様	26,667円
花づなの会 様	バザー売上金 20,000円
東御キリスト教会 様	
チャリティーバザー売上金	84,120円
匿名様	4,599円
上小理容組合 様	タオル、16,500円
東御ライオンズクラブ 様	テント2張
飯島 栄子 様	手芸用品
別府 清信 様	80,909円
北信ヤクルト販売㈱ 様	30,000円
匿名様	500,000円
匿名様	タオル

ウエス(清拭布)をありがとうございます

(11月・12月の受付分です)

堀 口 敏 子 様
 民団東信支部婦人会 様
 桜井福祉運営委員会 様
 常 田 常 磐 会 様
 田 中 長 寿 会 様
 匿名 名 様 (田沢)



編集後記

新年を迎えて、私の子供の頃のお正月遊びを思い出してみると、定番の凧揚げやコマ回し、パッチンなどがあつたように思います。凧やコマは買った物ではなく、近所のおじさんに教えてもらい、身近な物を使って作ったことを覚えています。今で言うリサイクルですね。これがまた、買った凧やコマよりよく飛び、よく回ったのでびっくりしました。時代が変わり、子供の遊びも変化していますが、人と人とが心の通い合う遊びを今の子ども達に残してあげたいですね。

(田中)